

美術科学習指導案

三次市立作木中学校 教諭 原田 真季

- 1 学 年 第1学年
- 2 場 所 1年教室
- 3 題材名 「自然の形や色彩 ～自然物の形をヒントに文様を作ろう～」
- 4 題材について

(1) 題材観

本題材は中学校学習指導要領美術の第1学年の内容「A 表現」(2)アと(3)ア、「B 鑑賞」(1)アに関する題材である。

私たちの身の回りには様々な文様がある。日本の伝統的な文様を始め、それらの文様は、花や木々といった自然物をモチーフにし、単純化・デザイン化したものが多い。本題材は、植物や果物の形を、単純化・強調し、デザイン化したものをゴム版に彫り、連続して押印することによって、自分のオリジナルの文様を制作し、ハンカチにするものである。

本題材のねらいは以下の4つである

- ① 植物や果物の形の全体や部分や中身の形をヒントに文様を単純化することで、様々な視点からものを見て、発想する力の向上を図る。
- ② 連続したらどのような文様になるかを考え、完成図を予想しデザインすることによって構想力の向上を図る。
- ③ 自分のデザインをゴム版に彫る作業を行うことによって、彫りの技術の向上を図る。
- ④ 完成した文様を正方形のハンカチにどのように配置するかを考えることによって、構成力の向上を図る。

(2) 生徒観

第1学年の生徒について、第1学期に行った美術科のアンケートでは、絵を描くことに対して苦手だと答えている生徒が15人中5人、手先をつかって物をつくり出すことが苦手だと答えている生徒は15人中7人だった。更に、条件やテーマをもとに発想することを苦手とする生徒は、15人中7人いた。約半数が発想や構想の能力及び創造的な技能について十分身に付いておらず、苦手意識をもっていることが分かった。また、これまでの授業においても、平面構成等で構想を練り上げないまま制作を進めたり、筆等の用具を適切に使って緻密な表現をすることが不得意だったりするなど、構想力や技能面での課題が見られる。一方で、美術の授業に対しての意欲は高く、苦手なことではあっても投げ出すことなく日々取り組んでいる。

(3) 指導観

生徒の実態を踏まえ、指導に当たっては次の①②の手立てを講じる。また、題材の終末に計画している相互鑑賞に際しての手立てと、題材全体を通して関心や意欲をもたせるための手立てを③④のように行っていく。

① 発想や構想の能力((1)①②④)を育てる手立て

視点を決めて対象をしっかり観察・スケッチさせることによって、自然物の形を様々な視点からデザイン化させていく。参考作品を提示しながら単純化・強調・アレンジの順番に、スモールステップで作業を行うことによって、よりよい文様のデザインを発想できるよう指導を行う。ハンカチに押印して仕上げる段階では、配置パターンの異なる参考作品を数点提示し、それをヒントとして文様の配置・構成を熟考させる。

② 創造的な技能((1)③)を育てる手立て

彫刻刀の使い方を基礎から復習し、丁寧に作業を進められるよう、きめ細かい個別指導を行う。

③ 鑑賞の能力を育てる手立て

仲間からの作品に対する肯定的な評価を付箋紙に記入し、交流することによって、仲間の作品の形や色彩の美しさを発見するとともに、自分の作品・表現に対して自信がもてるように指導する。

④ 美術への関心・意欲・態度を育てる手立て

デザイン化するモチーフの実物を用意し観察・スケッチを行うことで生徒の制作意欲を高める。デザインを考えたり、発表したりする際には電子黒板を使用して参考作品や生徒の作品を提示し、部分を拡大するなど、形や色彩の美しさを細かく鑑賞できるような工夫を行い、生徒の関心・意欲を高める。

5 題材の目標

文様の形の美しさに関心を持ち、自然物の形からイメージを膨らませてデザインの構想を練り、設定したテーマに合った文様を表現することができる。

6 題材の評価規準

美術への 関心・意欲・態度	発想と構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に構想を練ろうとしたり，工夫して表現したりしている。 ・文様のよさや面白さを味わおうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定したテーマをもとに，植物の形を単純化，強調し，文様の連続性を生かしたデザイン案を練っている。 ・設定したテーマをもとに形や色彩などの効果を生かした表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物や果物の形の全体や部分，中身の形など様々な視点から対象を観察し，形の特徴をふまえスケッチしている。 ・彫刻刀を正しく安全に使用し，各種彫刻刀の特性の生かし方を考え，創意工夫して文様を表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文様や，身の回りの様々な文様の単純化・強調された形，連続したデザインの美しさを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。 ・仲間の作品の美しさや，形や色彩の工夫点を発見することができる。 ・自分の作品の工夫点について形や色彩などの造形要素を使って説明している。

7 指導と評価の計画（全7時間）

次	学習活動	評価の観点					
		関	発	技	鑑	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な文様を鑑賞し、よさを味わい、工夫に気付く。 ・対象の形の面白さ、特徴を様々な視点から見付ける。 （1時間）			○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文様や、身の回りの様々な文様の単純化・強調された形、連続したデザインの美しさを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。 ・植物や果物の形の全体や部分、中身の形など様々な視点から対象を観察し、形の特徴をふまえスケッチしている。 	行動観察 ワークシート クロッキー帳
2	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもとに、アイデアをスケッチに表す。 （本時2 / 2時間）	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に構想を練ろうとしたり、工夫して表現したりしている。 ・設定したテーマをもとに、植物の形を単純化、強調し、文様の連続性を生かしたデザイン案を練っている。 	行動観察 ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> ・考えたデザインをゴム版に彫る。 ・テーマをふまえ、形や連続性を生かしながら白布ハンカチに文様を表す。 （2時間）		○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・設定したテーマをもとに形や色彩などの効果を生かした表現の構想を練っている。 ・彫刻刀を正しく安全に使用し、各種彫刻刀の特性の生かし方を考え、創意工夫して文様を表現している。 	行動観察 作品
4	作品発表 まとめ （2時間）	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の作品の美しさや、形や色彩の工夫点を発見することができる。 ・自分の作品の工夫点について形や色彩などの造形要素を使って説明している。 	行動観察 ワークシート 振り返りシート

◎：指導に生かすとともに記録して総括に用いる評価

○：主に指導に生かす評価

8 本時の展開

(1) 本時の目標

単純化・強調を行ったモチーフを、連続性や表現したいイメージを踏まえて改良し、オリジナルの文様デザインを考える。

(2) 本時の評価規準

- ・主体的に構想を練ろうとしたり、工夫して表現したりしている。
- ・設定したテーマをもとに、植物の形を単純化、強調し、連続性を生かしたデザイン案を練っている。

(3) 準備物

【生徒】教科書・ファイル・クロッキー帳

【教師】電子黒板・タブレット・ワークシート

(4) 学習展開

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (評価方法)
導入 5分	1 前時までの復習	◇前回単純化・強調を行ったデザインを紹介しながら内容を復習する。	
展開 40分	2 課題の提示		
	めあて「単純化・強調を行ったモチーフをさらに改良し、テーマにそった文様デザインを考える」		
	3 文様デザイン改良のポイントについて学習する。 4 テーマをもとに文様デザインを考える。	◇アレンジの加え方について、参考デザインを提示しながら、ポイントを整理させる。 ◇形を洗練し、ものさしやコンパスを利用して丁寧に描かせる。 ◆彫刻刀を扱う際の技術の個人差をふまえ、複雑なデザインを考えている生徒には単純化するよう、机間指導にてアドバイスをを行う。	・主体的に構想を練ろうとしたり、工夫して表現したりしている。 (行動観察)
5 ペアでデザインを交流する。	◇アドバイスの視点(イメージにそったデザインか・連続性を生かしたデザインか・彫ることが可能か)をもとに対話し、完成作品のイメージをつかませる。		
6 アイデアを絞って決定し、デザインを完成させる。	◇友達のアドバイスをふまえてデザインを再度練り、完成させる。	・設定したテーマをもとに、植物の形を単純化、強調し、文様の連続性を生かしたデザイン案を練っている。 (ワークシート)	
まとめ 5分	3 本時の振り返りを記入し、次時につなげる。	◇本時のめあてにそった振り返りを記入するよう指導する。	

《めあてを達成した生徒の姿》
 A基準…設定したテーマが伝わるように、連続性を意識してデザイン化し、形やつながりが美しくなるようにデザインを工夫している。
 B基準…設定したテーマをふまえ、単純化と強調を行い、連続性を意識したデザインの構想を練っている。

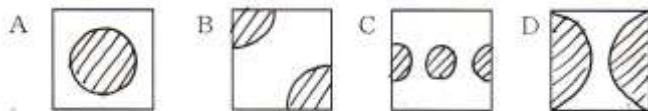
9 板書計画

自然の形や色彩～自然物の形をヒントに文様を作ろう～

本時のめあて「単純化・強調を行ったモチーフをさらに改良し、テーマにそった文様デザインを考える」

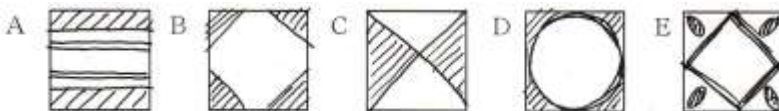
【デザイン改良のポイント】

① モチーフの配置・大きさを工夫する！



② 連続するデザインになることを生かす。

★正方形の端や角を工夫する。…完成図をしっかり想像する！



【注意】彫ることを考えながらデザインする。複雑にしすぎない！